

こんなことはありませんか？



学習

- 漢字や地図を読むのが苦手
- 板書をノートに写せない
- 本を読むとき、行をとばす
- 集中しにくく、落ちつきがない
- 新しいことに消極的



生活

- 外より室内遊びの方が好き
- 準備や片付けに時間がかかる
- 折り紙やボール遊びが苦手
- 目がゆれている
- 目が外側や内側に寄っている

視力や見え方に弱さがあるかもしれません

視力が低くても、ものをよけたり、親しい相手を見分けたり、小さいおもちゃを見つけたり、字を書いたりすることはできますが、じっくり、しっかり、はっきり見ることはできていません。

そのことを、子どもたちは自分でわかりません。
また、まわりの人もなかなか気づきにくいものです。

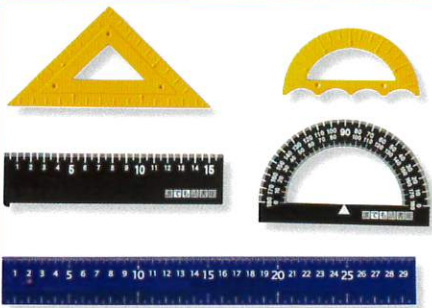


ちょっとした工夫で子どもの困り感を軽減できます

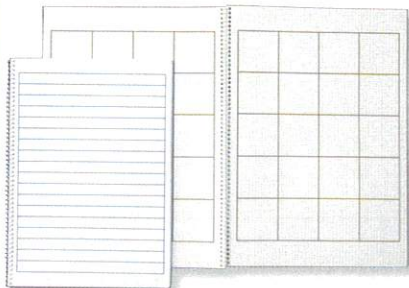
視力や見え方に弱さがある子どもには、じっくり、しっかり、はっきり見られるようにすることで、学習や生活の困り感を軽減できます。

じっくり、しっかり、はっきり見るための手だて

文房具



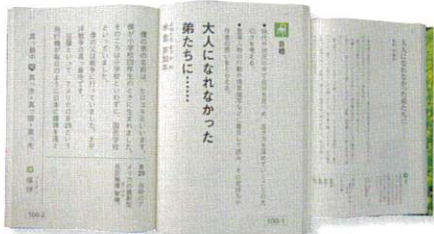
ノート



ルーペ・単眼鏡

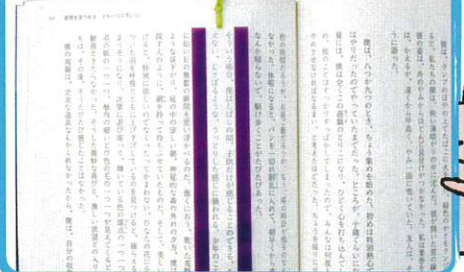


拡大教科書 (右は通常のもの)



見やすい教材や環境を整えることで、子どもの興味や集中力を高めることができます。

マスキング



中学部授業



体験教室(小学部)



いっしょに考えませんか

和歌山県立 和歌山盲学校 視覚支援センター

〒649-6338 和歌山市府中949-23

TEL 073-461-0322 FAX 073-461-0323

URL <http://www.wakayama-sb.wakayama-c.ed.jp>

メール soudan@wakayama-sb.wakayama-c.ed.jp

